



2020年8月6日

各 位

上場会社名 神東塗料株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高沢 聡  
(コード番号 4615)  
問合せ先責任者 総務人事室部長 棚川 一  
(TEL 06-6426-3355)

### 2020～2022年度 中期経営計画の策定について

当社は、このほど、2020～2022年度の中期経営計画を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、現在主な事業地域としている国内市場の伸び悩み、世界で広がる保護貿易主義的な傾向、自然災害多発・新型コロナウイルス流行など厳しい市場環境が想定される一方、老朽化した設備の更新投資をはじめとする経費の増加も避けられず、売上高・利益の拡大は容易ではないと認識しております。この課題解決のため、「選択と集中」の原義に立ち返り、塗料設計・製造技術を事業展開のコアとし、塗料製品の一層の高機能化による収益の改善、事業範囲の拡大による売上高増加、デジタル化による生産性向上の3つを基本方針に取り組んでまいります。

また、10年先の利益水準の目標を連結売上高営業利益率10%と設定し、この10年を準備・実施・収穫の3つのフェーズに分けて、様々な施策を進めてまいります。2020年度からの3年間は準備フェーズとして、当社の強みを活かした新規ビジネス・海外展開の探索に向けた市場調査・人材確保に取り組む所存です。この結果、2022年度の連結売上高営業利益率を4.7%まで引き上げることを目標としております。

計画の詳細につきましては、別紙の通りですのでご参照ください。

以 上

【对外発表資料】

くらし ゆたかに あざやかに  
未来を創造するコーティング

# 2020-2022 中期経営計画

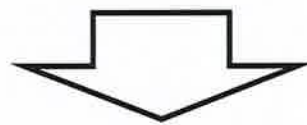
～ 殻をやぶり、未来を創る ～

2020年7月

 **SHINTO PAINT CO., LTD.**

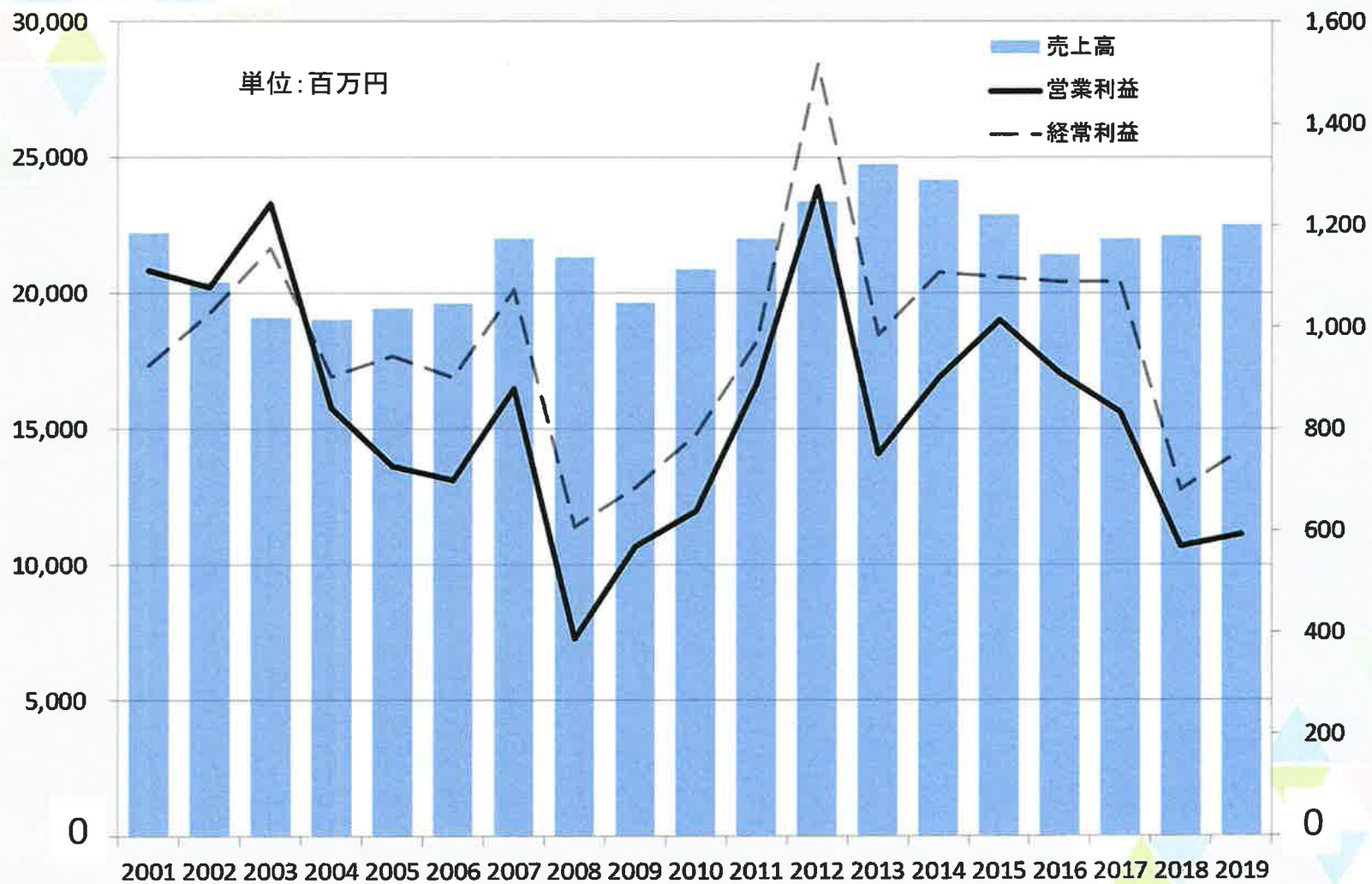
# 2019年までの総括

- 「事業の選択と集中」、収益の改善は不十分  
連結売上高225億円、営業利益5.9億円  
売上高営業利益率2.6%
- 事業環境の困難さは拡大  
国内市場伸長鈍化、米中摩擦激化  
消費税増税、自然災害多発、新型感染症流行

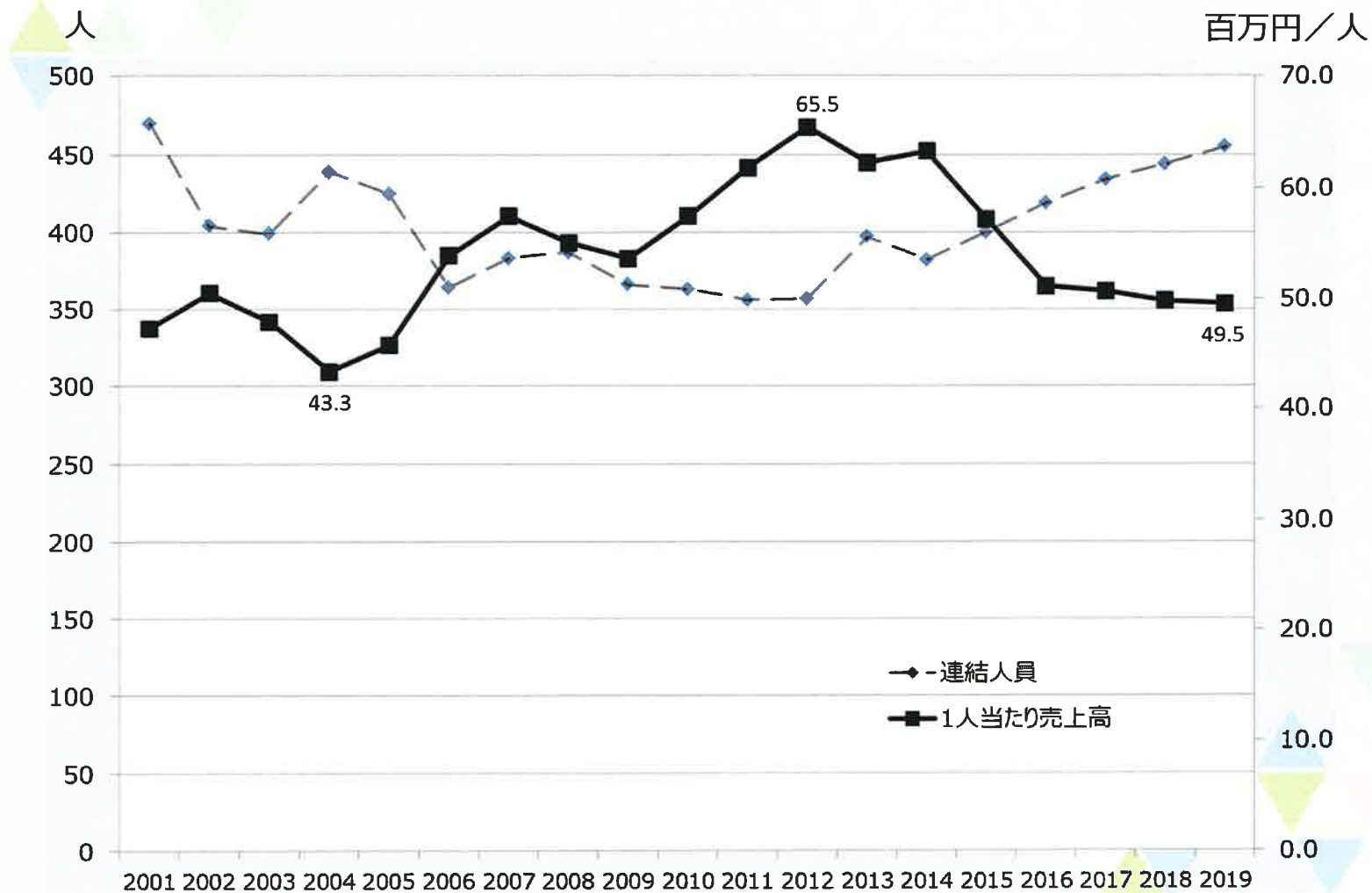


「選択と集中」の原義に立ち返る  
Concentrate in core competence

# 連結売上高、営業損益、経常利益推移



# 連結・1人当たり売上高の推移(2001年～)



# 経営基本方針

塗料設計・製造技術を事業展開のコアとする

1. **塗料製品の一層の高機能化**で収益の改善をはかる。「水」の神東から「環境」の神東へ
2. **事業領域の拡大**として、『新規コーティング材開発』、『海外市場への拡販』を進める
3. 全分野にわたる**生産性の向上**を達成するため、デジタル化を進める

# 塗料の高機能化

- 粉体塗料を軸に環境配慮型塗料拡充  
現状84%→3年後87%（数量ベース）
  - 低温焼き付け、常温硬化
  - 高耐久、省工程塗料の性能向上
  - 環境安全対策製品ラインアップ充実
  - 抗ウイルス等環境衛生対応製品充実
- 以上により、2019年実績比2022年は連結で  
売上高5.7%増、営業利益率2.6%⇒4.7%を目指す

## 事業領域の拡大

- コア技術を応用した新規コーティング材開発  
住友化学及びグループ企業との連携強化
- 既存提携先(TOA, Carboline, Axalta)に加え、  
新規パートナーも含めた海外新規事業検討
- 10年以内の安定収益化を目指し  
準備、実施、収穫の3ステップで進めていく。  
本中期3ヶ年は第1ステップと位置づけ、  
市場調査、人材確保を中心に取り組む。



# 生産性の向上

- 3年間の設備投資は 22.3億円を計画  
内3.4億円はIT基盤拡充  
（電子稟議、営業支援、実験ノートなど）  
残り18.9億円は高経年化更新とする
- IT基盤拡充では2022年で21名の、  
高経年化更新でも自動化・省力化を図り13名の  
人員合理化を目指す

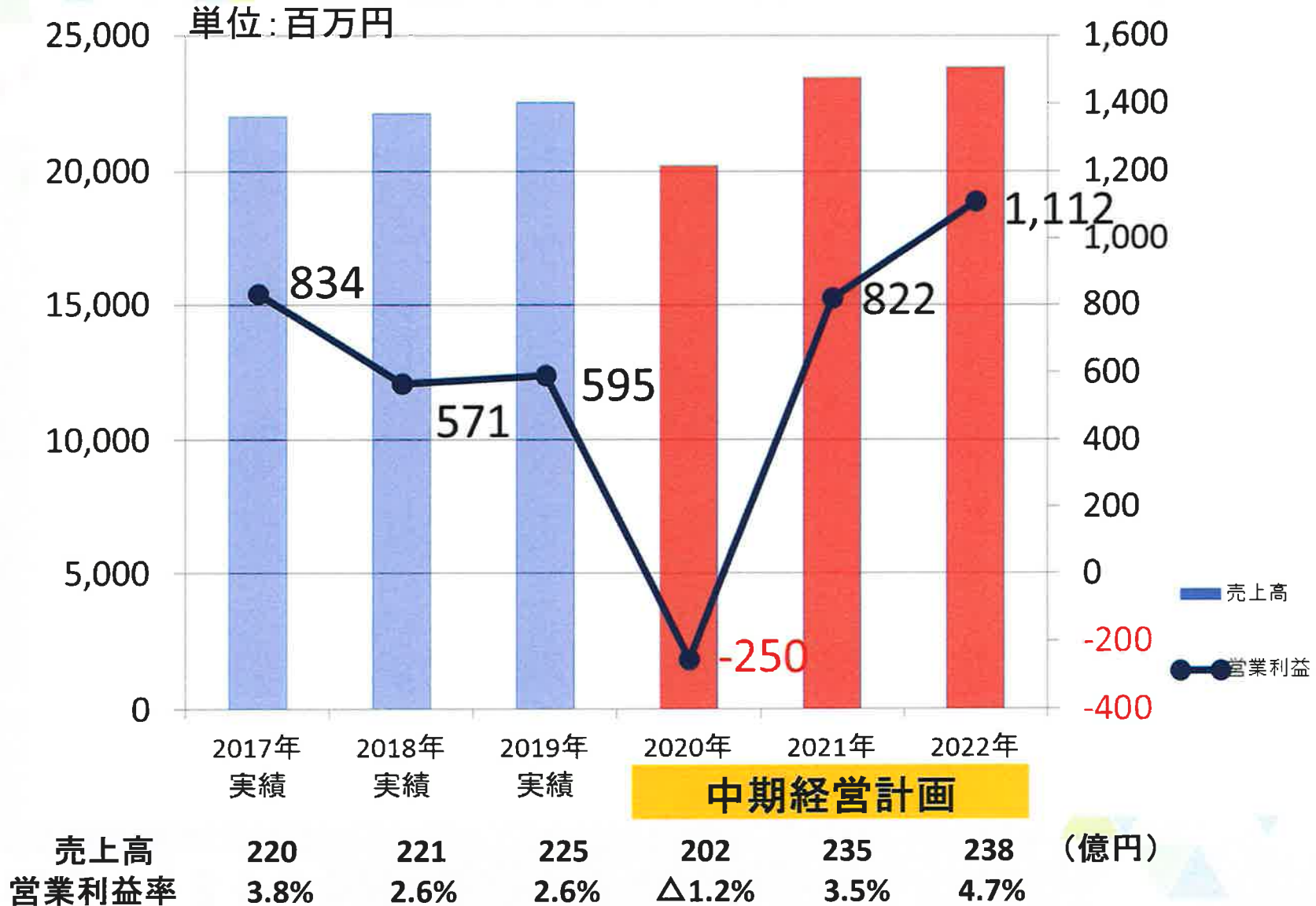
当該人員は新規事業、海外事業で将来活用し、  
現状人員規模で事業領域を拡大する

# 業績目標

10年後の最終目標に向けた第一ステップとして  
以下を計画

年度	<u>2022</u>	<u>2029</u>	参考 <u>2019</u>
連結売上高 (内新規・海外)	238億円	300億円 45億円)	225億円
// 営業利益	11億円	30億円	6億円
拡販	3.1億円		
合理化	4.3億円		
経費増加	▲3.1億円		

# 各年度業績目標



# SDGs達成への取り組み

- 住友化学グループとして社員参加型プロジェクト“**For Sustainable Future**”に参加

- 人材マネジメント**   
女性管理職比率の引き上げに取り組めます
- ステークホルダーとの対話**   
環境安全報告書に加え、積極的な発信をします
- コンプライアンス**   
最優先課題として徹底に努めます
- 環境負荷の少ない塗料の開発** 
- 環境の改善**   
省エネルギー、包装容器の繰り返し利用、廃棄物削減に努めます




# 環境改善目標

2022年度(対2019年実績比)

- CO2排出量 6.5%削減  
(エネルギー転換、省エネ等)
- PRTR対象主要物質排出量 10%削減  
※主要物質:エチルベンゼン・ベンゼン・トルエン
- 産業廃棄物(廃塗料、廃溶剤)発生量  
15%削減 (10年後目標:50%削減)





本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的  
事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に  
基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不  
確実性を含みます。将来における当社の実際の業績  
は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変  
動などにより、これらと異なる結果となる場合がござ  
います。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠  
されることは避けて頂きますようお願い致します。